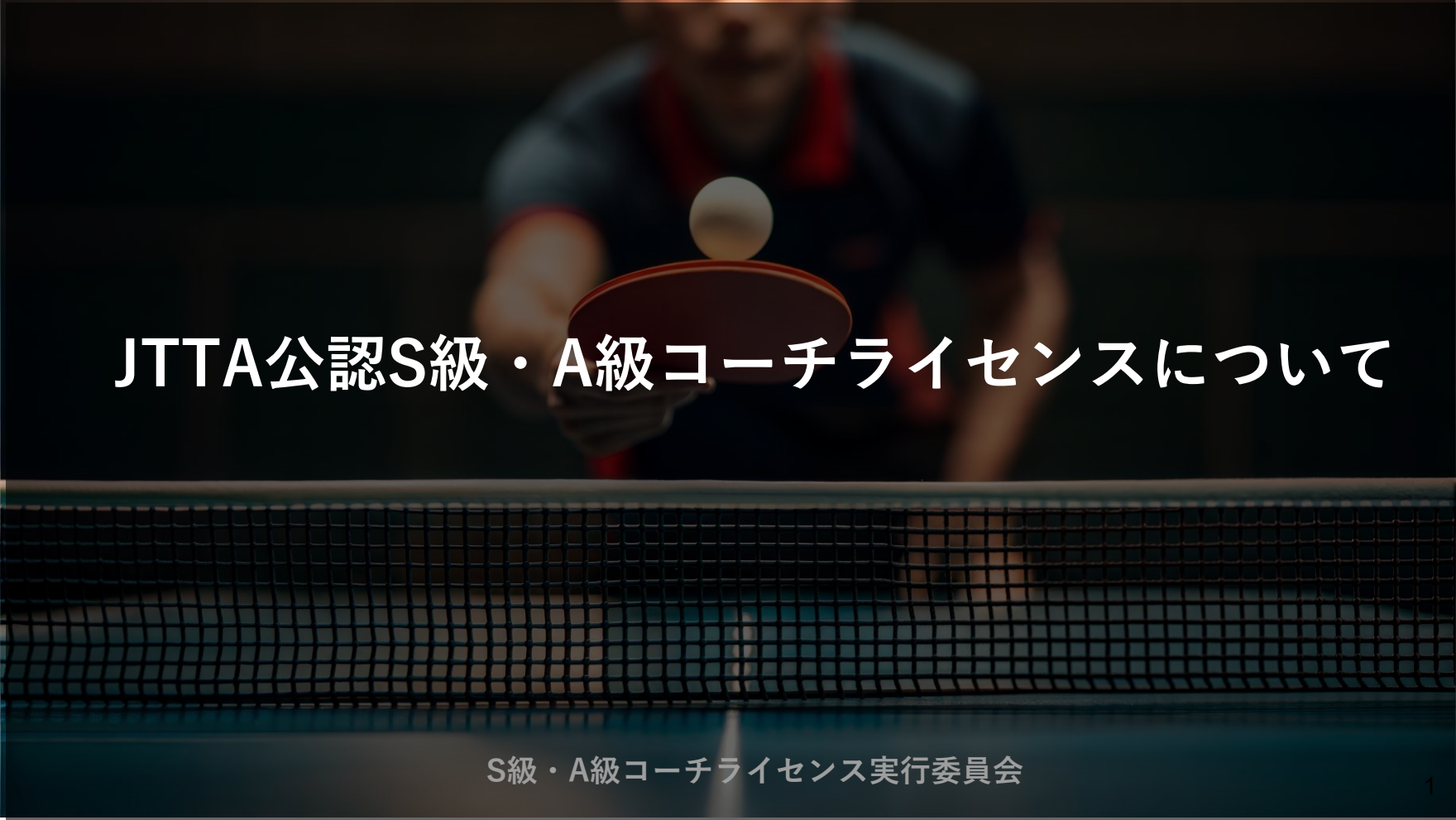


JTTA公認S級・A級コーチライセンスについて

S級・A級コーチライセンス実行委員会

JTTA公認 S級・A級コーチライセンス設立の目的と背景

卓球は、子どもから高齢者まで幅広い世代が生涯にわたり親しむことができるスポーツであると同時に、世界の舞台で高い競技力が求められる競技でもあります。

日本の卓球がこれからも世界・オリンピックでメダルを獲り続ける競技であるためには、「選手」「環境」「指導者」の三本柱が、それぞれ高い水準で機能し、互いに支え合うことが不可欠です。

中でも指導者は、選手の育成、競技環境の充実、そして卓球文化の継承と発展を担う中核的な存在です。
その役割は、競技力の向上にとどまらず、卓球界全体の未来を築くことにも及びます。

コーチの役割は、技術や戦術を教えることだけではありません。プレーヤーの年齢や成長段階、目標、チームの状況を理解し、それぞれに応じた指導を行いながら、卓球を通じて挑戦する楽しさや成長の喜びを感じられる環境を整えることが重要です。

また、競技力の向上だけでなく、プレーヤーが人として成長していく過程を支えることも、コーチに求められる大切な役割です。

一方で、スポーツ界では指導現場における不適切な行為が社会的課題として指摘されており、安心・安全で信頼される競技環境を守ることがこれまで以上に求められています。そのためには、卓球に関する専門的知識や指導力に加え、高い倫理観と人間性を備えた指導者の育成が重要です。

こうした背景のもと、日本卓球協会では、卓球競技独自の指導者資格制度としてS級・A級コーチライセンス制度を創設します。

本制度では、卓球競技の特性を踏まえた指導理論やトレーニング科学を体系的に学びながら、コーチング、マネジメント、コミュニケーションといった指導者に求められる総合的な能力の向上を目指します。

また、指導者同士が知見や経験を共有し、継続的に研鑽を重ねることで、卓球界に学び続ける文化を育み、
指導力の向上につなげるとともに、専門性と資質を備えた指導者が、それぞれの経験や能力を生かして活躍できる場の創出・拡充を図っていきます。

本制度での学びや出会いが、指導者としての視野を広げ、さらなる成長につながることを期待しています。

そして、その学びがそれぞれの指導現場で生かされ、卓球の楽しさや価値がより多くの人へ広がるとともに、
卓球の未来を支える指導者がこの制度から育っていくことを願っています。

指導者の学びと指導力の向上を通じて、選手を守り、競技と卓球界全体の価値を高める

特に、次の5つが制度の根幹になります。

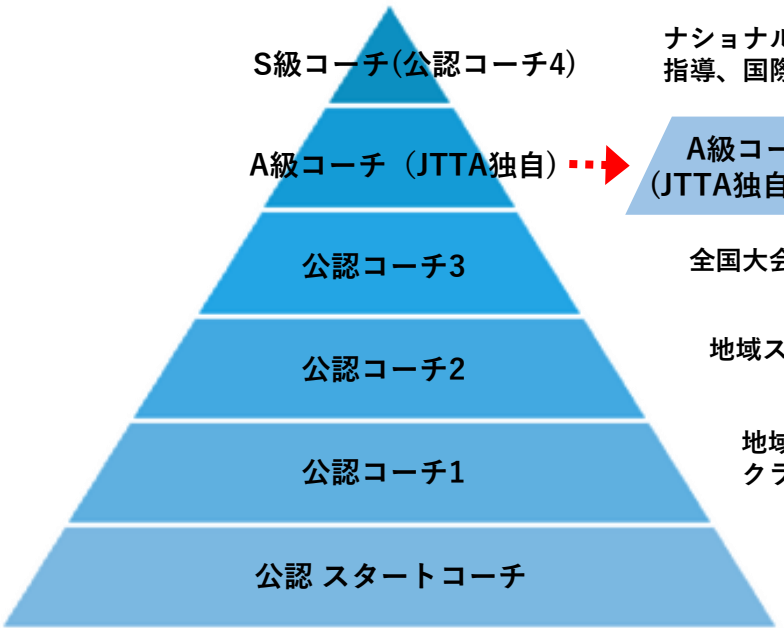
1. 指導者としての専門性の向上：これまでの経験や実績に加え、指導に必要な知識や能力を体系的に学び指導力の向上に繋げる。
2. 選手の安全と権利の保護：暴力、ハラスメント、不適切な指導を防ぎ、安心できる環境をつくる。
3. 指導者の継続的な成長：資格取得をゴールとせず、最新の知識を学び続ける。
4. 競技全体の発展：強化・育成・普及など、さまざまな分野の特性や目的に応じた指導を充実させる
5. 社会的信用の向上：指導者の専門性と責任を明確にし、選手・保護者・スポンサー・社会からの信頼を高める。

本制度が目指すゴール　卓球界の未来を担う人材・リーダーの育成

強化・育成・普及・組織運営など、さまざまな分野で活躍し、卓球界の持続的な発展を支える人材を育成する。

JTTA公認 S級・A級コーチライセンス　～体系的な指導者育成システムの構築～

〝トップオブトップの指導者をブラッシュアップ〟



ナショナルチーム/Tリーグ　世界トップクラスの選手の指導、国際競争力を備えた卓球界のリーダーの養成

A級コーチ（JTTA独自資格）

国内トップクラスのチーム、選手の指導、国内カテゴリのリーダーの養成

全国大会レベルの指導

地域スポーツ、スポーツ少年団、学校部活動等の監督責任者

地域スポーツ、スポーツ少年団、学校部活動等のコーチングスタッフ、クラブ、サークルにおいて初心者や子供たちを対象

地域スポーツ、スポーツ少年団、学校部活動等において上位資格者と協力

S級コーチライセンス（公認コーチ4）
・公認コーチ4専門科目→S級コーチライセンス
・公認コーチ3保有が受講条件

A級コーチライセンス（JTTA独自資格）
・公認コーチ資格を保有なしでも受講可

JTTA公認 S級・A級コーチライセンス別概要

	A級コーチ 主催：公益財団法人日本卓球協会	S級コーチ 主催：公益財団法人日本卓球協会 公益財団法人日本スポーツ協会
開催頻度（受講日数）	年：1回（10日間70h）	年：1回（前期10日/後期10日 計20日間140h）
受講条件	(公財)日本卓球協会登録会員であること指導者養成委員会が認めた者	(公財)日本卓球協会登録会員であり、受講年度の4月1日現在満24歳以上で次の何れかに該当する者 ①コーチ3取得済みの者で、日本卓球協会指導者養成委員会が認めた者 ②コーチ3取得済みの者で、日本卓球協会強化本部が特に推薦する者　※年齢要件緩和を含む　（実技科目の免除条件については別途定める）
受講料	75,000円	180,800円 ※内訳 JSPOコーチ4共通科目受講料30,800円 JTTA S級コーチ受講料150,000円
初年度登録料（翌年合格時）	10,000円	JSPOコーチ4初年度登録料 デジタル版　13,000円 or 印刷送付版　17,000円 JSPOコーチ4初期登録手数料初回登録時のみ3,300円 JTTA S級コーチ初年度登録料10,000円
更新料（４年後から）	10,000円	JSPOコーチ４更新料 デジタル版　13,000円 or 印刷送付版　17,000円 JTTA S級コーチ更新料　10,000円
資格有効期間	4年	4年
S級コーチ免除資格	NCA修了者、コーチ４保持者	NCA修了者、コーチ４保持者
日本スポーツ協会（JSPO）における資格名		公認コーチ4
公認コーチ4共通科目(151h)		受講必須

JTTA公認 S級・A級コーチライセンス 更新研修

本制度ではコーチライセンス取得後も定期的な更新研修（継続教育）を実施し、以下の3つの観点を重視した仕組みとしています。

1）すべてのコーチが共有すべき重要な知識や情報を継続的に提供すること

2）ライセンスを取得した指導者が、次世代の指導者を育成していく仕組みを構築すること

3）コーチが学び続ける文化を育むこと

資格の有効期間はS級・A級ともに4年間です。
更新には所定の手続きとリフレッシュポイントの取得が必要で、S級は8ポイント、A級は4ポイントが求められます。
また、S級はJSPO公認コーチ4の更新研修要件も満たす必要があります。
リフレッシュポイントは、指導者養成研修などで講師を務め、次世代の指導者、選手育成に貢献することで取得できます。
研修には、倫理や卓球界の最新動向などを学ぶ毎年開催の「エッセンシャル研修」と、
幅広いテーマを扱う不定期開催の「リフレッシュ研修」があり、いずれも対面またはオンライン形式で実施されます。